

・神戸は今、ファッショニ・シティ、コンベンション・シティをめざしている

神戸ポートアイランドは 21世紀の世界への窓口

△座談会出席者▽

柏井 健一

（柏井紙業株式会社社長
神戸商工会議所情報文化部会長）

鬼塚 喜八郎

（株式会社アッシュ・ス社長
神戸商工会議所情報文化部会副会長）

木口 中内

衛 力

（協同組合神戸ワールド会長
株式会社神戸ポートビアホテル社長）

北川 勳

（神戸商工会議所貿易部会長）

—神戸市がファッショニ都市づくりを目指して今年で

一〇年になります。ファッショニ都市の「核」、ポート
アイランドのファッショニ街区も昭和五九年三月、第一
次が稼動を始めます。一方、国際展示場、国際会議場、
ホテルの「三点セツト」が、すでにコンベンション・セ
ンターとして動いております。今回はこういう神戸のビ
ッグプロジェクトについて、昨秋のアメリカのコンベン
ション・シティ視察の感想などを混じえてお話し下さい

日本で最初のコンベンション・センターが神戸に

柏井 アメリカへ行って感じたのは、コンベンションの
概念が非常に幅広い。われわれが考えているコンベンシ
ョンやメツセとアメリカのそれとは幅が非常に違う。あ
らゆる市民的行事、スポーツとか音楽祭とか商品の展
示、講演会から、また、スポーツと言つてもショービジ
ネス的なもの、ロデオとか拳闘まで、とにかくライブで
実物を見るものをすべてコンベンションだとアメリカは
考へているわけですね。神戸でやるコンベンションはど

ういう形になるべきかということになつて来るのです
が、ヨーロッパ的なコンベンションというのは、商社機
能の代行という役割が多くあって、日本ではちょっと難
しい。神戸では、むしろ、国内中心のコンベンションの
運営を考え行かないといけない。そうするとアメリカ
的な運営に近いものになるのではないかと思います。

一つの問題は、コンベンション・ビューローのあり方
です。受け入れ体制をどうするかが神戸にとつては大問
題ですね。一番びっくりしたのは、日本へ帰つたらすぐ
にアメリカからたどたどしい日本語でお礼状が届いた。

アメリカ人が書いた日本語の礼状が届くわけです。アメ
リカで会つていても非常に親切で、ホスピタリティ精神
がきわめて旺盛で、こういうところは今の日本のシステ
ムでは組めてない。将来の大きな問題点の一つです。

木口 確かに施設だけ出来てもいけないんで、問題は運
営のやり方でしょうね。心が通い合うということがコン
ベンションでは一番大切なことですよ。

木口 ワールドはポートアイランドに体育館をつくろう

ということでおやりになっていますが、それをアリーナ

多目的ホールとしても使えるようなものにしていただ

きたいですね。もともとの発想は体育施設だったと思

ますが、体育施設はアリーナで最もウエイトの高い部分

です。アメリカのコンベンションはすべてアリーナで行

われています。そのためには収容人員も一万人から一万

五千人ぐらいの規模のものに何とかして欲しい。現在、

日本にあるアリーナは、武道館ぐらいだと思いますが、

その何倍か多目的に使える機能を考えて欲しい。ワール

ドの二〇億に神戸市がプラス三〇億をつぎ足してでもり

っぱなものを造って欲しいと思いますね。神戸は八五年

にユニバーシアード大会が行われますが、競技のかなり

の部分をそこで行うことになると思う。サッカーもラグ

ビーもできるし、二百米ぐらいのランニングもできるし、

テニスなら八面から十面、バレーボールなら六面とか

いうスケールのものが大体できるのではないかと思う。

それと、あとシアターです。三千人程度が入れるもののが

必要です。会議場、展示場、ホテル、アリーナ、シアタ

ー、この「五点セット」がどうしても必要ですね。

中内 コンベンションが行われると、そこには当然レジ

ヤーが必要となりますから、シアターでミュージカルなど

いろいろな催しが行われるわけです。

柏井 レディースプログラム、ナイトプログラム、それと夫婦で楽しむエクスカーション。これが出来なければコンベンションとならない。神戸だと奈良、京都、鳴門の観潮、姫路城などを幅広くセットとして考えられます。

柏井 健一さん

鬼塚喜八郎さん

木口

衛さん

中内

力さん

北川

勲さん

中内 私はアメリカへ行って二つほど感じましたね。

一つはコンベンション・シティは、周辺の環境が非常に大事だということですね。アナハイムのコンベンション・センターはロサンゼルスの郊外のデズニーランドの前の綺麗な田園地帯のなかにある。サンアントニオ

のコンベンション・センターの周りには川が流れ、その周辺は公園になっている。川にはボートが運航していて

ボートで会場へ行ける。コンベンション・センターとか

コンベンション・シティという場合、環境がいかどうかが非常に大きな問題になると思います。その点、神戸

のコンベンション・センターはシーサイドにあってレジ

ヤーランドあり南公園ありで大阪湾を一望できるという

素晴らしい環境にある。コンベンションでは会議もやるわけですが、滞在を楽しむという要素もありますからね。

もう一つは行政の取り組み方。アメリカではコンベン

ションを一つの大きな産業としてとらえていますね。ア

メリカでは「グレーターアトランタ」における最大の

産業だとはっきり定義している。コンベンション関連産

業は売り上げ高、従業員の数などからいって断然他を圧

倒している。行政の取り組み方も本当に真剣です。向こ

うではベッドタックスとかレストラントタックスとか日本

で言う飲食税の一部をコンベンション・センターの建設

とか運営の補助金として還元しているのも驚きました

だからりっぱな施設が現在でも増設されている。地域に

おける最大の産業というとらえ方をしており、行政とコ

ンベンション・センターとが一体となり資金的にも裏づ



けをもつてているということですね。シカゴでは競馬から上つて来る税収をマーコミック・センターの運営資金に充當しているとも聞きましたね。コンベンションをやれば、それだけ大きな税収があるということは事実です。今後、神戸市がコンベンション・シティとしてどんどん客を集めればいわゆるベッドタックス、レストランタックスがどんどん上つて来るということですね。それを一部でも投資することによってコンベンション施設を拡大強化して行く方向を当然考えてもらいたいと思います。

鬼塚 都市の活性化は、情報と人が集まらないと出来ない。昨年のポートピア'81には一、六〇〇万人が集ったのですが、この人たちが活力となって成功をおさめた。だから人の集まる企画、イベントをやることが大切になります。では、それはどういうことかというと、経済を中心と考えてみると、やはり見本市です。見本市で人が集つて大成功をしているのは、特にヨーロッパではドイツが各都市とも第三セクターで見本市協会というものをつくつて、発展している。中規模都市がメッセそのものを中心にしていろいろの見本市をやる。もちろん見本市だけではなくて、必ず会議をやる、食事をするということでのこれはもうコンベンションとかメッセとか分けられるものではなく、全く一つのものですね。フランスもイタリアもそうですね。アメリカでも見本市をやつたときには会議をやるんです。そしてパーティもやる。そこで人の交流がある。こういう人の交流がないと都市の新しい活力というものはどうしても生まれない。それにはどうしても魅力のある集まりやすい環境というものをつくつてしまわないといけない。そこで神戸がファッシュン街区をつくろうと、国際展示場、国際会議場、ホテル、さらによくアリーナをつくって、これらを一体として見本市も出来るし、あらゆる会議、音楽祭、芸術祭、いろんなことがとにかく出来る一つの施設がすでに出来、それを今後充実するためにもっと施設を拡大する。それが大切なことはなかろうかと思う。今の施設はま

市民と交流のあるコンベンションを

ず緒に着いたということで、日本の、しかも神戸という独特的の土壤に合うような施設をつくるて行かないといけないと思いますね。それを行政に任せっぱなしでいいのかというとそうじゃない。民間主導型の機関を充実して行くべきではなかろうかと思うわけです。

北川 私は神戸の貿易業者の一人ですが、大体、商社機能というのはメーカーが造ったものを媒介して世界各国へ売る、また世界各国へ売る産品、原材料を日本へ輸入して国内市場へ取り次ぐというのですが、ただ、販売の貿易テクニックとしまして、輸出の場合でもつくったものを見せて売る、また輸入に当たりましても海外産品を買いつけて、そして見せて国内市場に売るというよううちに輸出入とともに「見せて」というところでクロスするわけですね。その見せるということを貿易商社の業務の中では、サンプルを発送したり型録を海外へ送ったり、各個別にやっているのですが、コンベンション機能のハードとしてポートアイランドに会議場、展示場、ホテルの「三点セット」が出来たということで、個々の商社がバラバラにやつております。見せる」という働きをもっと集約的にインパクトを与えて、しかも時代を先見して新しい商品の海外新市場を開拓するということを果さそうということで、アメリカのコンベンション・シティを見て来ましたが、ロスアンゼルス、アトランタ、シカゴ、ニューヨークのそれぞれが日本よりも十年は進んでいるという印象を受けて帰つて来ましたのはみなさんと同じです。ただ、私が思いますに、アメリカのコンベンションは土地がゼロに近いコストになつていて、だからすべてハードは平面上に、水平に展開されています。それとともに飛行場が隣接している。この二点がアメリカのコンベンションを壮大にさせて、かつ、一か所にたくさんの人気が集まるということにつながっている。日本では特に阪神間は土地が高いですから、限られた土

地の上にコンベンションのハードをつくって、アメリカと同じように人を呼び込もうとするなら、どうしても立体的なものを考えて行く必要があると思う。たとえば、コペンハーゲンのベラセンターは、非常に立体空間をうまく使っている。神戸でも国際展示場が一つでは足らないのでこれからつくつて行くのですが、一たん天辺までリフトで上げておいて、そこから下うつと降りて来るようなシステムにしてはどうかと思うんです。神戸のコンベンション、特にメッセの場合は平面的にあちこちとぞろぞろ歩かないといけないと言うのではなくてメガトロニクス技術を駆使して、カードを入れたら必要な情報がブラウン管に映し出されるとか、日本の先端技術を取り入れたメッセを組み立てて行く必要があるし、神戸はその力を十分に持っていると思いますね。

柏井 現在の段階ですでにコンベンション・センターが神戸には出来ている。国際会議場と国際展示場とホテルなどですが、これらが一か所にきちっとあるのは日本では神戸だけですね。だからこれをどう拡大して行くか、どう運用して行くかをうまくやって行けば、日本のコンベンション・シティのさきがけた形が神戸でとれるのではないかと思う。施設などの規模では東京の方がりっぱかも分らないが、東京、京都ともそれがセンターとしての形をなしていない。その意味で神戸は一步先行していると思います。

鬼塚 ただ国際展示場は狭すぎますね。出来たらとも

う二つか三つぐらい、本当は五つぐらいないと国際展示場とは言えない。ポートアイランドは環境がいいし、いろんな機能があるから展示会をやろうというムードが高まって来たら自然に第二号館、第三号館をつくつて行ける。今のコンテナ基地を六甲アイランドにもつて行って、その土地を幾らでも活用できますね。それぐらいの発想でコンベンション・シティをつくつて行かないところだけな考え方では魅力あるものにはならないですね。

中内 欧米では、たとえば五日間の展示なら最初の四日

間は業者以外は一切入れない。ところがそればかりやつていると市民とコンベンションが遊離してしまふ恐れがある。それに対しては最後の一日前日から二日は市民に開放する。業者だけのときは有料ですが、このときは無料なんですね。これによって新しい情報をコンベンション・センターが、業者に対してと同様、市民に対しても提供することができます。これが大事なことだと思う。神戸の場合もそうするべきだと思いますね。アリーナとシアターの意義は、主催者、参加者のために必要であると同時に、それによってコンベンションの参加者と市民とが交流する場になるということですね。たとえば、コンベンションのときアリーナでボクシングとかサーカスとかをやるとすると、市民も参加できる。だから今後、神戸市をコンベンション都市として成長させて行くためには市民とコンベンションが一体となることを考えておかないといけないと思う。

北川 昭和三七年から日本エレクトロニクスショーというものが始まり、東京、大阪と交替で毎年秋にやっているのですが、大体五日間あります。最初の二日間は業者がしか入れない。たいがい水曜日から始まるので、水・木・土・日と一般に開放するのですが、中高校生がものすごく来る。もう身動きも出来ないぐらいたですね。さらにオープンの前の晩に業者が集つて前夜祭をやるのですが、これが一番最後の日には、サークัสをやっている。音楽会をやっているとなると市民は集つて来ますね。

ファッショントリック街区も日本で初めての試み

木口 神戸市は十年前にファッショントリック街区づくりを標榜して、行政も業界も一緒になってやつて来たわけですが、ポストポートピアにファッショントリック街区をつくるについては神戸市民から大きな期待をよせられて、実際に実行に移す段階に來たわけです。ファッショントリック街区の周りにはアリーナやシアターが出来るとコンベンション・センターとしての形が整うわけですから、私たちとしてもとにかく

かく早くやりたい。いつまでも放つておくことは出来ない。私どもは二九階建ての本社ビルを昭和五九年中には完成させることになっています。私たちと一緒に第一次として八社が進出する。そしたら形はよくなると思う。もちろん八社だけでは形を成さんわけで、第二次、第三次と引き続き一年遅れ、二年遅れで順次出来て行くわけですよ。将来、神戸のファッショングループに日本はもちろん外国からも、コンベンション・センターの周辺にこういううりっぱなものが出来て、いるということで人が来るようないものを作りたいと思っています。欲を言えば世界の一流ブランドをあそこに何とか誘致できないかということを提言しているわけです。地元だけではなくて日本のファッショングループの中心にならないと、せつかくあれだけのものをつくるのですから、もったいないと思う。今、全国に卸売り団地というのではなくて、全國に卸売り団地といふのはたくさんあるのですが、ファッショングループの中心にならないと、せつかくあれます。神戸がコンベンション・センターとして形を成して来つつあるのだから、これに負けないようなファッショングループをつくらないといけないと思います。

中内 コンベンション・センターに世界から著名な人々が集まる。その集つた人が持つて来る文化というものを神戸の町がいかに吸収して、新しいオリジナルなものを作り出して行くか、それが神戸ファッショングループでしようね。ファッショングループは何も衣料だけでなく、一つの新しい生活のパターンということですからね。

木口 神戸の場合、ファッショングループということを広く定義してやつて来てますね。ファッショングループのビルとしてもそれぞれ個性を持つたものが出来てくると思いますよ。一つひとつビルを見ると個性があつても全体として見るとバランスがとれたようになると一番いいですね。ビルを見るだけでも面白いとか、感覚的に新しさを訴えるような町になつて欲しいですね。

鬼塚 ファッショングループを具体的にどういうようにしたならば、日本のモデルになるような、素晴らしい人の集ま

るような町づくりが出来るのかというのが問題ですね。当初、市の担当者のプランの中にはいわゆるファッショングループ機能タウンだということが非常に強く打ち出されていた。その後、そういう考え方ではいいファッショングループは出来ないという意見がどんどん出てきました。人が集まつて来ないと楽しい町づくりは出来ない。そのためには散歩をして疲れたらコーヒーでも飲もうか、食事でもしようかと、そういう気楽に行けるものでないといけない。だから一階にブティックの小売店を出したりその隣に喫茶店を出したりすることが何故悪いのかという意見がどんどん出てきた。ようやく市の方もパリのファッショングループストリートのようなものにしないといけないと考えを変えて来たようですね。面白いタウンづくりが出て来ると思いますよ。人が集まり楽しく生活して、そこで憩えるような町にして行かないといけないです。木口 いろいろなものが完備したら、神戸はちょっと日本に例を見ないような素晴らしい町になりますよ。

中内 神戸というの是非常にイメージがいいんですね。ホテルがオープンしてから幾つかの会議があつたんですが、一回やると非常に好評なんですね。来年もやろうとか来年は出来なくて二年後にはぜひ、とか、そういう希望が相当多い。主催者、参加者から神戸は素晴らしいと評価されて来ている。

北川 たまたま先日、カンヌからバイヤーが來たのですが、神戸のフィーリングに感心して帰つた。だから、われわれが思っている以上に、『三点セット』は誇るに足るものだということですね。

中内 これからはコンベンション・センターが国際文化との接点に必ずなる。神戸がコンベンション・センターになるということは、まさに国際都市としての神戸が復権を宣言するものであると思います。

北川 二一世紀の世界の玄関口は神戸のポートアイランドだということですね。

田崎真珠株

取締役社長 田崎俊作
神戸市中央区旗塚通6-3-10
TEL (078) 231-3321

オールスタイル株

取締役社長 川上 勉
神戸市中央区伊藤町121
TEL (078) 321-2111

カネボウベルエイシー株

取締役社長 稲岡必三
神戸市中央区三宮町1丁目9-1-807
センター・プラザ東館8F
TEL (078) 392-2101

㈱ベニヤ

取締役社長 松谷富士男
神戸市中央区三宮町1丁目10-1
TEL (078) 332-3155

モロゾフ株

取締役社長 薩野友太郎
神戸市東灘区御影本町6丁目11番19号
TEL (078) 851-1594



キャンペーン「国際文化都市神戸を考える」の企画は以上5社の提供によるものです。

THE ARIMA SPA
IN MAR.

湯の街

有馬歳時記

□座談会

コンベンション・シティとしての
有馬の可能性を探る

柏原 英通／神戸市経済局次長

風早 喜一／兵庫向陽閣

梶木 雅夫／中の坊瑞苑

奥田 真弘／月光園

金井 清展／御所坊

—有馬温泉は古来より日本三大靈泉の一つとして広く知られていますが、最近、有馬をコンベンション・シティにしたいという気運が盛り上っていますね。そこでどういう構想で動いているのか、つたことをお伺いしたいと思います。

柏原 有馬には四十八軒の旅館・ホテルがあり、ベット数では七三八八になる。これは神戸市全体の三分の一のウエイトですね。これは有馬の一つの実力です。

千二百年代には有馬で歌会が盛んに行われた。歌人が寄り集つて歌をつくり宴会をするというのは、言つてみればコン

ベンションですね。秀吉の時代には、ねをはじめ実力者を集めて茶会をやりますね。これもコンベンションです。有馬は昔から京阪神の今で言うコンベンション・エリアとしての役割を果たしてきました。



風早 喜一さん

会議をするのが一番安くつくなので、ピー・アールの仕方によつてはコンベンションの客を有馬に引きつけることは十分に出来ますね。

金井 ただその規模から言って有馬で神戸市内と同じコンベンションをやるのは無理ですから、有馬という観光地の魅力を十分に發揮できる有馬にふさわしい、いわば“専門メニュー”的なコンベンションを消化したいですね。

梶木 一四年前にニューヨークへ行つたときに近郊のアトランティックシティの



伝統と格式を誇る

兵衛

向陽閣

景勝高台の近代旅館

TEL (078) 904-0501代

湯の香漂う
緑の中の優雅な佇まい

木造りの宿



TEL (078) 904-0551

自然の恵みを
湯けむりに伝える

政府登録国際観光旅館



TEL (078) 904-0731

旅は出会い

ほのぼの心を添えて

政府登録「登旅第78号」



神戸市北区有馬町318

TEL (078) 904-0366

コンベンションを見たのですが、このと

きに大都市近郊でのコンベンションの必
要を感じ、帰つてから早速六百人が腰か

けられる宴会場をつくりました。八百人
から千人が入れるコンベンション・ホー

ルが有馬にぜひ欲しいですね。有馬には
遊びという要素、リゾートの要素もあり

都市近郊にあるということと共に強みに
なっていますね。


奥田 雅夫さん
奥田 ただホールをつ
くると言つても、單な
る會議だけではなく
て、多目的に有郊に使えるものをつくる
ないといけない。建物のなかに例えれば有
馬についての資料室を入れるとか、何か
楽しめるものを入れないといけないです
ね。しかしコンベンション・ホールが絶
対に必要だというのは有馬のわれわれの
考え方です。

柏原 真弘さん

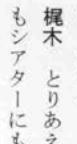
柏原 有馬の方々は大

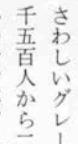
変に研究熱心で、有馬
の振興ということで団
結されていますが、何

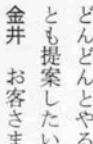
百年もの間に温泉町を大きくして来られ
たという歴史を背景に、今、コンベンシ
ョンという横文字のニュアンスを古い町
にとり入れて、将来ともに発展させよう
という積極的な意欲には感心しています
具体的にはコンベンション・ホール＝温
泉会館をつくるという案がありますが

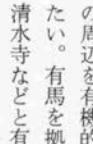
大きなコンベンションを誇りにすることに
よつて有馬全体が潤おうのでこれには大
賛成です。しかし、つくる以上は永く使
わないといけないので、ぜひとも素晴らしい

いものをつくりたいですね。

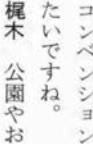

梶木 梶木
とりあえずは会議が出来て、しか
もシアターにも使えるホール、有馬にふ
さわしいグレードの高いホール、本当は
五千人から二千人収容のホールが欲し
いのですが、八百人ぐらいでもグレード
の高いものをまずつくりたいです。


柏原 柏原
ホールの建設以外では、今ある公
園、広場、史蹟の整備など出来ることを
どんどんとやる一方、イベントをやるこ
とも提案したいですね。


金井 金井
お客様にも若い人が増えて来ま
したので、若い人がた
くさん集つて何か出来
る場所、例えばスポ
ツが出来るとか、有馬
の周辺を有機的に開発できることを考え
たい。有馬を拠点として例えば東条湖、
清水寺などと有機的に回われるネットワ
ークが欲しいですね。


奥田 奥田
有馬の旅館・ホテルは全国的にみ
てもハイグレードで、サービスも各社が
努力をしていますが、史蹟や名所など歴
史的なことをもっと開発して宣伝したい
と思いますね。

風早 歴史的なものを集めることには協
力をしますが、それを保存するのは民間
では難しい。古い有馬を見せる記念館を
コンベンション・ホールのなかにつくり
たいですね。


梶木 梶木
公園やお寺などに楽しく歩いて行
ける道づくりも必要です。
柏原 さらに神戸や大阪の人々が日帰りで
楽しめるような工夫も欲しいですね。

有馬の歴史を語り切る「いで湯の宿」

銀水荘

別館 楽山

TEL (078) 904-0522

別館 光楽

TEL (078) 904-3656

欽山は典雅な
日本風の館です

国際観光旅館

欽山

TEL (078) 904-0701代

敷地内から湧き出る
日本最古の温泉“有馬温泉”

阪急ホテルチェーン

有馬ビューホテル

TEL (078) 904-2295代

●

温泉と演芸と遊技場

有馬ヘルスセンター

TEL (078) 904-2291

雅ただようくつろぎの館

中の丸瑞苑

TEL (078) 904-0781

会議セミナーから御家族づれまで

有馬グランドホテル

TEL (078) 904-0181

話題のひろば

<I>

「ガチャヤマン」の 南禅さんを祝う



(上) 左・授賞者の南禅満作さん、右・福引きをする左より足立巻一さん、島京子さん、漫画家の高橋孟さん。

(下) 左・南禅さんを囲んでこれまでの神戸文学賞・女流文学賞受賞者ほかのみなさん、右・講評をする小島輝正さん

一月二十二日夜、神戸夙月堂ホール（元町三丁目）で小説主催による第六回神戸文学賞・神戸女流文学賞の授賞式が行われた。昨年十一月の最終選考で、神戸文学賞は南禅満作さんの「ガチャマン」に、神戸女流文学賞は該当作なしと決っていた。

授賞式では選考委員を代表して小島輝正さんが「南禅さんは戦後すぐから書き始め、ずい分と熱心にたくさん書いている。受賞作は一連の作品のなかでも一番よくまとまっている。話も面白いし、独特の個性をもつ人物が出て来る」と講評をのべた。そのあと表彰状、副賞二十万円と羽多悦子さん作によるブロンズ像が贈られた。

あいさつで南禅さんは「同人誌を長くやっていると書くコツや技術が分って来て、偶然にいいものが書けることがあるが、一篇や二篇で終ってしまう。それはどうしてだろうか」と同人誌の長い経験を今後に生かす意気込みを見せた。その後、地元の歌手の湯井一葉さんの音頭で乾杯、新年会に移った。食事タイムにはシャンソン歌手の湯井一葉さんの歌も流れ会は盛り上った。新春お年玉・福引大会は各社から商品を提供いただいたが、選考委員の足立巻一、島京子両先生からは著書が贈られ和やかな新年の集いだった。



話題のひろば

<||>



上段：(左)平和の祈りをささげる参加者たち、(右)サンバでフィーバー。中段：(左)モハメット・田嶋克巳、(中)鍵わりはジェイ・グラック、後藤清一、(右)障害者とも手をつなごう、右端は鬼塚実行委員長、下段：世界の国から民族色豊かなアトラクション。

世界平和に 市民の交流を

□新春神戸国際交流まつり
'82

国籍港都神戸には80カ国近い国籍の外国人が住んでいる。しかし市民レベルでの草の根交流はまだまだ不十分、近年高まってきた諸外国との貿易摩擦などを解消するためにも人と人との付き合いを通しての相互理解がぜひ必要、と神戸輸入促進フォーラム（後藤清一会长）の主催で「新春神戸国際交流まつり'82」が1月22日、神戸市勤労会館大ホールで開催された。实行委员長・鬼塚喜八郎（株式会社アシックス社長）さんが「国籍や習慣の違いを越えて今夜は大いに楽しんでほしい」と呼びかけ、後藤清一さんとJ・グラックさんがハッピ姿の鏡わり。

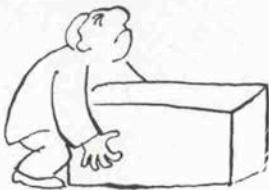
3時間の世界の旅と題したアトラクションでは、デキシートランドの演奏に始まってサンバ、韓国の民族舞踊、中国の太极拳、中南米音楽、室内楽の演奏、モロッコの子守唄、イランのベリーダンスと盛り沢山な内容。日本側からは奄美民謡、御殿舞、神戸太鼓、さらには障の青年が作詞した「歩きたい心」をシャンソン歌手の上平田裕子さんが披露。

田嶋克巳理事長より海外との相互理解を一層深めるよう閉会の挨拶がされた後、八代欽一司祭、モハメッド、佐藤宮司、酒井ハリストス正教会司祭らが揃って平和の祈りをささげた。

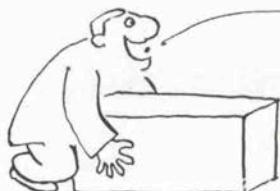
3時間の世界の旅と題したアトラクションでは、デキシーランドの演奏に始まってサンバ、韓国の民族舞踊、中国の太极拳、中南米音楽、室内楽の演奏、モロッコの子守唄、イランのベリーダンスと盛り沢山な内容。日本側からは奄美民謡、御殿舞、神戸太鼓、さらには身障の青年が作詞した「歩きたい心」をシャンソン歌手の上平田裕子さんが披露。

田嶋克巳理事長より海外との相互理解を一層深めるよう閉会の挨拶がされた後、八代欽一司祭、モハメッド、佐藤宮司、酒井ハリストス正教会司祭らが捕つて平和の祈りをささげた。

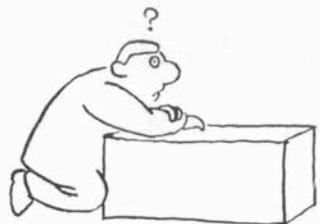
ふきをひ プロフェッサーPの研究室 岡田 淳



いいものがあるぞ



これを飲むと
バカちからになる

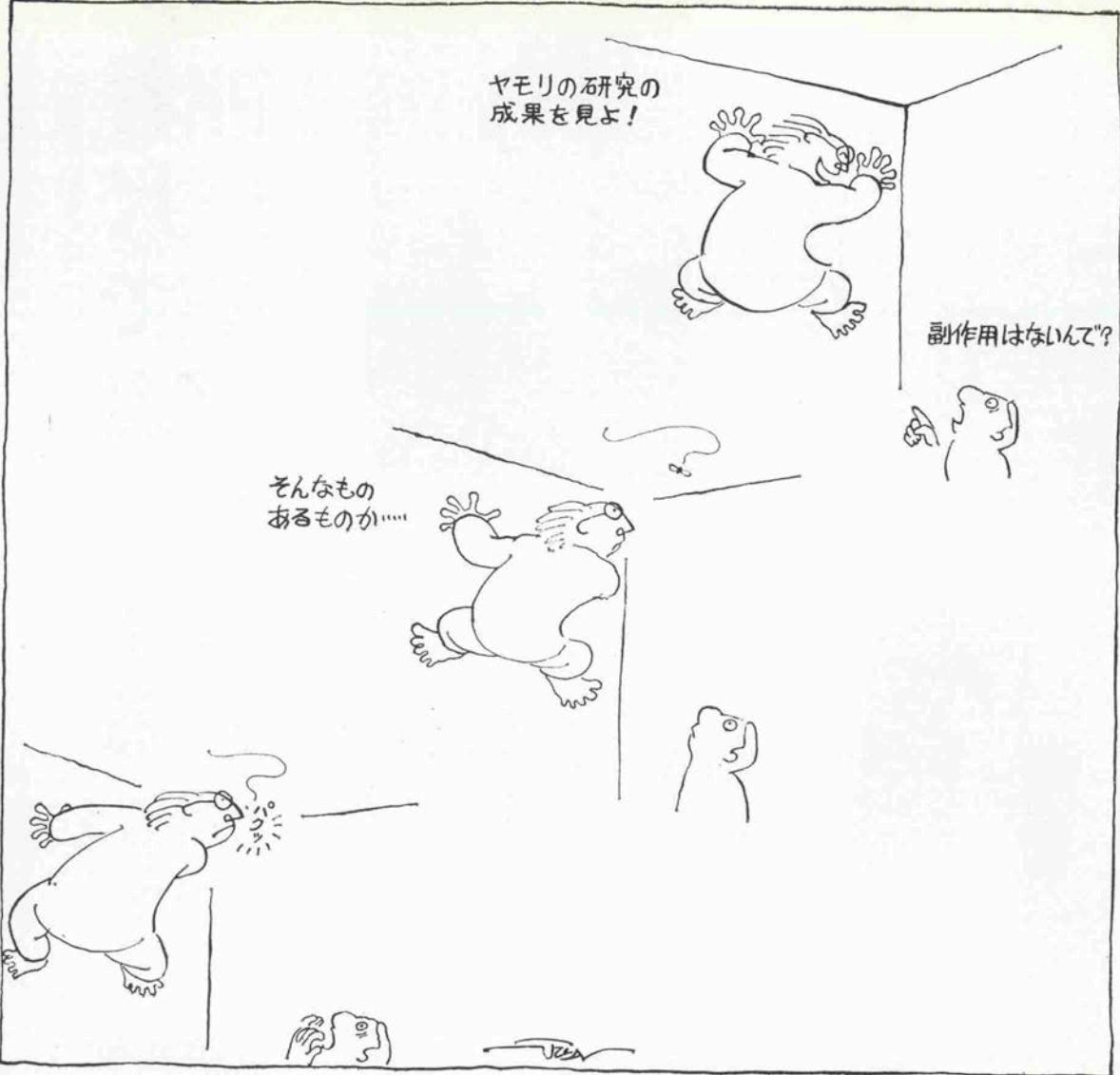


ただし効力は
一時間で半減する



単なるバカになるのじや

—Tak



着尺で表現する 神戸モダニズム

藤本ハルミ〈クチュール「マー・ガレット」主宰
K.F.M(コウベファッショニスト)会長〉



「女性が美しく見える服を」と藤本ハルミさん

——デザイナーとして二十五年の実績をお持ちですが、ライフルワークとしてきものの着尺を素材に使われるようになられたきっかけは、どんなことからですか。

「私は戦後初めての洋裁ブームの生徒なんです。パリのオートクチュールを目指して勉強していたんですね。ところが十七年前にヨーロッパへ行ってみて、いわゆるカーチャーショックを受けたんです。西洋と東洋の差を感じたし、今迄の物真似では、永遠に日本人は西洋を超えるなど痛感しました。この事を小原豊雲家元に話したら『それじゃ、日本人のデザイナーとして、日本人に着せたい、と思うものをまとめて発表してごらん下さい』とアドバイスされたんです。そこで商売を離れて自分の思いを『明治百年を記念して――日本の古典を探る』



作品「茅渟の海」
昨年のK.F.M.のショウより

と題したファッショニングショウを開きました

——その成果はいかがでしたか。

「当時は、まだ三十六センチ巾の着尺を自由に使いこなす技術が私に伴っていなかったので、広布で全部別染めにし、大変苦労して作りました。けれど一点も売れないと覺悟して、あくまでも自分の考えを発表するためのショウにもかかわらず、バラバラと染めや帯地の服が売れたんです。そこで、私の主張を受け入れてくれた一般の人がいるとわかつて心強く思い、またジャーナリスト関係の方々にも評判が良かったので、これをテーマにやっていこうと自信がつきました。

戦後、日本人の生活が、着物から洋服に代わったのは事実ですし、その中で伝統文化を残すことをデザイナーとして私のライフルワークにしようと決心がつきました

「六年前に催された十年ぶりのファッショントショウ「流れる季節」はかなりの反響を呼びましたね。

「一度ショウをするとエネルギーを出し続けるから、充電するのに十年かかるたわ(笑)その間に、別染めして布地から作るというような特殊な工程では、なかなか普及できないので、既製の単物を使つてデザインした服が作れるよう技術を磨き、勉強しました。ショウでは三十点余りの外出用ドレスやロングドレスをドラマティックなテーマに合わせて発表したんです。お陰さまで好評を得て神戸の後、京都と東京でも開きました。でも面白いことに私が選ぶ着尺の色は、神戸の呉服屋だと沢山見つかる



中山手教会の山側、環境の良い北野町の山本通りにある「クチュールマーガレット」の外観

のですね。神戸っ子の感覚は、外人の眼のようなところがあるのでしようか。私の服は、神戸モダニズムに表わされる日本の古典といえるのかもしれませんね」

——先生が、会長をされているKFMの第3回目のファッションショウが三月三日に開かれますね。KFMはKFCに続くオートクチュールデザイナーのグループ活動ですが、その特色はいかがでしょう。

「現代はアパレル産業が大きな力を持つ時代で、いわゆる専門店やオーダーの店は、よほど実力がなければ難しいわけです。そこで一人では微力であっても何人かが集まるこことによって、デザイナーの個性が發揮できる場としてショウが催せます。一般の人々にとつてもアパレルが企画する売るためだけのショウよりは、理想を追求したものだけに夢があつて楽しいのではないでしようか」としてショウが催せます。――昨年の“This is Kobe”をテーマにしたショウは、東京の人からも「今まで神戸市民のファッショントレーナーの高さが具体的につかめなかつたが、このショウでよくわかりました」とお褒めの言葉を頂きました。私達の活動がファッショントリニティ都市神戸のイメージ高揚に役立っているとしたらとても嬉しいことです」

——神戸のデザイナーの特徴はどういうところでしょうか。「東京でもT D 6とかアパレルデザイナーが集まつて購買層を招くショウはあります、クチュールデザイナーが集まる例は珍しいと思います。皆が仲良く、でもショウを開くと、全く違つた個性が作品に出るんですね。港町・神戸の男性はフェミニストで女性がのびのびできるんですね。神戸の真珠を扱えるのも特色ですしね。」

——先生ご自身の今後の抱負をひとつ言。

「ファッショントショウが多様化した今日でも、原点はあると思います。日本の気候風土に合い、日本人を美しく見せる形を追求したいですね。結局は毎日の積み重ねが大切なことで、一点ずつに情熱をこめて創っていくこととでしょう」

■ KFMの「ファッショントショウ」女のはいる世界
とき・ところ／3月3日(水)・神戸ポートピアホテルB1階 楽の間
チケット／3PM・¥3,000 6:30PM・¥15,000

la boutique charmante Serizawa



ライフ・ステージ、美しく。

風の沈黙、ホリゾンの誘惑…。
海はいま、憧憬のステージとなった。
やがて時は、夢の香りをまき散らしながら、
ゆっくりと廻りはじめる。



serizawa

■本店 神戸市中央区三宮町3丁目1-8 TEL(078)331-1695 ■さんプラザ店 ■センター街店 ■さんちか・店 ■メンズセリザワ KOBE・OSAKA・TOKYO・KYOTO・HIMEJI

青空に白い街並が映る
神戸は今、新緑の季節



POETIQUE

■ 神戸 さんプラザ店
さんちか店
須磨パティオ店
千里阪急地下街店
阪急ファイブ
西武高架店
泉北パンドジョ店
阪急ファミリーストア店
西武大津SC店

KOBE
まさ

鮮やかに、ヨーロッパの春。

From Kobe with love

素敵な出逢い—神戸のエスプリ

EUROPE IMPORT COLLECTION '82



やわらかな陽ざしにゆれる、 華麗なるヨーロッパプロア

ひかり
やわらかな陽光と風が春の香りをつたえるとき

ご入園、ご入学や新しく社会人となられる方々には何かとお出かけの多くなる季節です。

〈リザ・サロン〉神戸本店では

フランス、イタリアより優雅で気品あふれるファッショングの数々を直輸入いたしました。

ヨーロッパ商品は高いというイメージを一新し、時をうつさずヨーロッパと同一価格でお届けいたします。

コンサルティングショーを開催いたします。

ご希望の方は、お早めにご応募くださいませ。

(各30~40名様を申し込み受付いたしております)

3月20日(土)21日(日)

第1回 AM11:00~ 第2回 PM2:00~ 第3回 PM6:00~

※お問合せは〈リザ・サロン〉神戸本店まで



リサはファッションを通して豊かな生活を考えます——

LIZA SALON

PRODUCED BY LIZA CO.,LTD.

リザ・サロン〈神戸本店〉

〒650 神戸市中央区三宮町1丁目9-1セントーブラザ3階 TEL:078-391-6806代

SAPPORO・SENDAI・MITO・CHIBA・TOKYO・KAWASAKI・YOKOHAMA・NAGOYA・KYOTO・OSAKA・KOBE
OKAYAMA・HIROSHIMA・KITAKYUSHU・OITA・KUMAMOTO・MIYAZAKI・KAGOSHIMA・OKINAWA



OTSUKI PEARL

真珠と宝石



株式
会社 大月真珠

本社

神戸市中央区三宮町1丁目2番地の1
(三神ビル2階)
TEL (078) 391-4931~3

東京オフィス

東京都中央区銀座5丁目9番1号
(銀座幸ビル2階)
TEL (03) 571-7443-0761



自然の永い眠りから醒めた時—パールは美しい女性になる。

KANEKO PEARL

真珠・宝石

金子真珠店

神戸市東灘区住吉町堂ノ本1824 ☎ 078(822)1106 ✆ 658

●銀座 ●ホテルパシフィック ●ナビオ阪急 ●御影ガーデンシティ ●福岡 ●長崎 ●佐世保



■笑顔に真珠■

樽本 千賀子さん

(甲南女子大学文学部英文科4回生)

“うちの電話番号をこの写真と一緒に載せたら、
パパがあわてて「神戸っ子」を買い占めるかしら”
とおっしゃるチャーミングなお嬢さまです。

 KINOSHITA
PEARL
CO., LTD.

Order Salon
〒650 神戸市中央区山本通1丁目7-7(北野坂)
TEL.(078)221-3170



100円チャリティサウナ

4月20日(火)

朝10時～夜1時

(受付は夜12時まで)

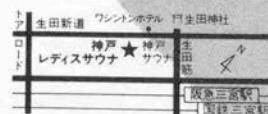
11周年記念

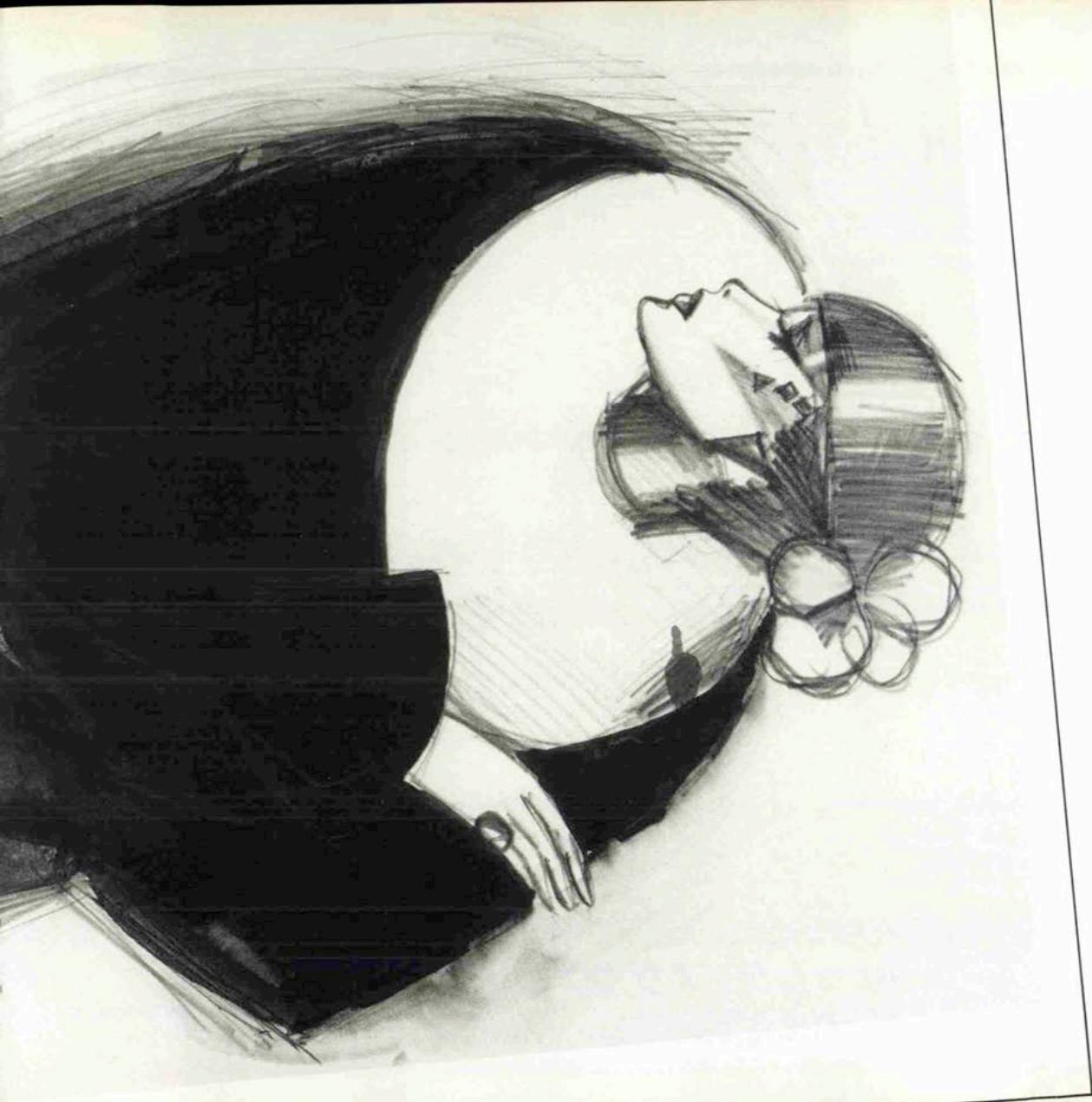
●1,700円のサウナ
コースが100円に!
当日に限りサウナ料金は
100円です。売上げは福祉
施設へ寄付いたしますの
で、お友だちお誘い合わ
せてご協力ください。

●感謝のプレゼント
もいろいろ!
●サウナ優待券を当日ご
来店のお客様全員に!
●毎月1回1年分の無料
招待券、そのほかフイッ
トネス・グッズなどは
抽せんでプレゼント!

サウナとエステティック
神戸☆レディスサウナ

神戸三宮・生田新道/ワシントンホテル向かい
TEL.078-321-4742 ■営業時間/朝10時～夜3時





春ですもの、一度トライしてみない？

篠原 順子 （絵と文）
ファンタジック、ロマンティック

女らしさの復活

何やら、きらびやかに、華やかに、

ドラマティックに、

バロック調、ルネッサンス風、

ファッショニは今、

キラキラ、芝居っ気たっぷり、

そして、あてがわれるのではなく

思い思いにセレクトして自分の世界を創る。

日常感覚的なファンタジー、

スポーティプロマン、

昔風のロマンティシズムの概念ではなく、

カジュアルマインドで、

ロマンティックなのである。

又、テーマの異質なもの、

組合せの意外性のオモシロさ

カッコ良く、

新鮮、

昔風のルックにこだわらないで、

一度、トライしない？

春ですもの。

